

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	びーと海田教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 30日		～ 2024年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 30日		～ 2024年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の5領域に沿って様々な活動を通じて、集団・個別での療育を提供している。	トレーニング(運動療育トレーニングゲーム)を活用し発達性強調運動障害に対する療育を行っている。	毎月新しい活動を取り入れている。
2	利用者の様子を職員間で情報共有したうえで話し合い、療育方針を検討している。	朝礼・終礼で療育の振り返りを行い職員間で情報共有し、療育方針を検討している。	ご家族や相談員さんと連携し情報を収集し療育方針を検討していく。
3	集団生活の中でのルールやマナーを身につける。	利用者の発達段階に応じた挨拶や言葉使い、話を聞く姿勢などを身につけられるように一緒に考えながら療育を行っている。また、集団生活の中で相手の気持ちを考えた行動ができるように声掛け、支援を行っている。	ソーシャルスキルトレーニングにて場面を考えながらルールやマナーを学べるように個別・集団活動に取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練を行っているが、ご家族への周知ができていない。	月の活動に入れているだけで、全体に周知できていなかった。 自分の子どもの利用日でなかったら気付いていない。	事前に保護者に開催する予定を伝える。 利用者が多くなる長期休暇中・曜日に実施する。 開催後にSNSやLINE等を活用し報告する。
2	事業所内での各種研修(感染対策や虐待防止等)の実施報告が十分にされていない。	事業所内で研修を実施しているが、SNSやLINE等のオンラインや通信といった媒体を活用した実施報告が十分にできていなかった。	SNSやLINE等のオンラインや通信を活用し実施報告をする。
3			